「変化」

四国学生卓球連盟　副幹事長　多賀雅

　この度は、第12回「日学連アゴラ」に文章を掲載していただけることに、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

　自分は、日々たくさんの人に感謝しながら生きています。今の自分がいるのは今まで関わってきた友達や部活の仲間たち、先生、両親、親戚の人たちなど、たくさんの人の支えのおかげです。

自分は、学連に入って、いろんな人に出会い、多くのことを学ぶことができました。学連の仕事をするときに、誰かに任せてしまう性格の自分のせいでうまくいかないこともありました。しかし、自分のミスをカバーしてくれる先輩方や部活の仲間たちの助けもあり、少しずつ自分でやろうという意識が芽生え、進んで仕事をするようになりました。

学連に入りたての頃よりも成長することができ、自分は良い方向へと変われていると感じます。また、今の幹事長よりしっかりした幹事長にはなれないかもしれませんが、自分なりに精一杯努力して、学連の仕事を全うしたいと思います。

大学に入って卓球部に入部したのは、同期や先輩方がいたからで、みんながいなかったらこんなに楽しい大学生活は送れなかっただろうなと思います。みんなに出会えて本当に良かったと思います。これからもたくさんの人への感謝の気持ちを忘れずに成長していきたいです。

　最後までお読みいただきありがとうございました。